

座間市文化協会報

座間市詩吟連盟 相武棋楽会 座間さつき会 座間市川柳連盟 座間市写真連盟
座間市短歌連盟 座間市囲碁連盟 座間市菊友会 入谷歌舞伎会 座間華道協会

ぶんきょう

座間市俳句連盟 座間市茶道連盟 座間市書道連盟 座間市謡曲連盟 座間市民謡連合会
R4. 10. 1 座間市三曲協会 座間市民踊連盟 座間ふるさとガイドの会 谷戸山山野草会 No. 92

発行 座間市文化協会 連絡先 座間市教育委員会教育部生涯学習課文化係 座間市緑ヶ丘 1-1-1 TEL046-252-8476

座間市文化協会の活動状況としては、毎年秋に開催される座間市教育委員会主催の座間市民芸術祭を主管しております。また、例年3月に「文化協会員のつどい」を開催し、会員が一堂に会し、会員相互の交流と連携を図っております。大風まつりや緑化祭り、ふるさとまつりへの参加・協力も行ってまいります。

その他に座間市国際交流協会や座間市観光協会を特別会員として支援しており、イベントや講座への協力を行っております。

それぞれの加盟団体は、市の内外を問わず、精力的に文化活動を展開しております。

座間市文化協会について

市民は多彩な文化・スポーツ・芸術活動に親しんでいますが、その中核を成す当協会が先頭に立つて座間市の文化の向上に努め、(住んでいる『街』が愛おしい)座間にしていければと思います。

座間市文化協会会長あいさつ

令和4年度から座間市文化協会の会長になりました太田司郎(座間ふるさとガイドの会)です。当協会発足は市制施行一年前の昭和45年で、本年度52周年の歴史を重ね私は14代目の会長です。令和3年度の集計では加盟19団体、会員総数は、805名です。

令和4年度座間市民芸術祭予定表

<展示部門>

- いけばな展 10/ 9(日)～10/10(月・祝)
- 「座間の歴史」展 10/14(金)～10/16(日)
- さつき盆栽展 10/21(金)～10/23(日)
- 文芸展 10/21(金)～10/23(日)
- 菊花展 10/31(月)～11/ 5(土)
- 書道展 11/4(金)～11/6(日)
- 写真展 11/25(金)～11/27(日)

<催し物部門>

- 民謡舞踊発表会 10/ 2(日)
- 謡曲発表会 10/ 8(土)
- 三曲発表会 10/23(日)
- 民踊発表会 10/30(日)
- 入谷歌舞伎公演 11/ 6(日)
- 吟道大会 11/27(日)

<競技部門>

- 将棋大会 11/13(日)



座間市民芸術祭の様子



納涼茶会

座間市茶道連盟

8月20日(土) ハーモニーホール座間 2階大和室で納涼茶会を行いました。館内が飲食禁止でしたので決定するのが遅れ、50名程のお客様でした。マスク着用、検温、消毒とこれまでの茶会の姿を変え、コロナ時代に適う茶会でお客様にも感染対策に協力していただきました。本席は「洗心」の軸を掛け、富士釜、鷹の羽箒、茄子香合で縁起良く、猿の絵茶碗にコロナ去るの願いを込めました。理事一同、3年ぶりの茶会に感激しました。

(大矢枝利子)

座間市民踊連盟

民踊連盟はボランティアの会です。3年ぶりに今年ふるさとまつりに参加させていただきます。7月に北地区文化センターで発表会を行いました。10月30日にはハーモニーホール座間で、文化協会の協力で発表会を開催します。3年前には銭太鼓とコラボでしたが、今年は民踊連盟だけで行います。コロナ禍で公民館まつりが中止、発表する場所がなく、館長さんの計らいで館内のテレビでの発表会を行っております。民踊連盟は、全員で座間音頭を踊っております。

コロナに気を付けて座間市公民館においでくださいませ。

(安本文子)

座間華道協会

いけばなを未来に繋げてもらうことを目指して、平成30年に「親子いけばな教室」を開講しました。現在は、市内7か所のコミセン等で、小学生から70代まで40人余の方が、毎月一回いけばなを楽しんでいます。今年はその中から8人が座間華道協会に入会しました。毎年新学期前に、新しい生徒を募るため「体験教室」を開いており、今年も3月に計画していましたが、コロナの影響で延期し、7月の実施となりました。「親子いけばな教室」を見学したい方、いけばなを体験してみたい方、いつでもどなたでも歓迎です。

(萩原玲子)



令和4年度総会

座間ふるさとガイドの会

観光協会の「相模七福神めぐり」、小学校の紙しばいも中止。市委託の春の文化財めぐりは3月に「栗原縦貫道・相模の弥市のふるさとを訪ねて」を17名で実施。今後の予定・10月の文化財めぐり、座間市民芸術祭、11月市民自主企画講座を4回実施(広報で募集)、12月注連縄作り、3月春の文化財めぐりです。

会員募集 電話:046-256-1284
メール:shiroota6-9@jcom.home.ne.jp
太田までメールか電話を。
次回、定例会の見学などご案内します。
年会費 2,000円

(伊藤浩史)

◆◆編集後記◆◆

争いと殺戮の止まらない国外の惨事ばかりではなく国内においても想像もつかない悲惨な出来事が、矢継ぎ早に押し寄せ息をつく間もなく、この先に不安が増すばかりである。そんな中「ぶんきょう」92号の編集会議が行われた。コロナ禍により年中行事の縮小はあったものの、各サークルとも夫々独自の活動が続けられており、紛れもなく平和であるからこそその思いに浸っている。高齢化の波は否応もなく、押し寄せ深刻な状況ではあるが、それと同時に先人が積み重ねて来られた貴重な歴史を、次世代に引き継いで行く責務も重く受け止めねばならない。この号がお手元に届く頃にはウクライナにも秋空が等と微かな願いを抱いている。紙面の充実を計るために皆様のご意見をお寄せいただきたいと願っております。

(広報委員 勝家 幸子)

入谷歌舞伎会

一昨年から続くコロナ禍で、歌舞伎の稽古が思うようにできませんでしたが、今年に入り徐々に練習を再開することができ、現在、11月6日(日)の座間市民芸術祭(ハーモニーホール座間大ホール)に向け、稽古に励んでいます。

今年の演目は、武蔵坊弁慶が生涯でたった一度涙を見たという「弁慶上使の段」また、歌舞伎では定番の「白浪五人男」を演じますので、ぜひご鑑賞いただければ幸いです。

また、7月31日鈴鹿明神社宵宮祭での「白浪五人男」の出演や令和5年2月23日小田原三の丸ホールでの「曾我兄弟」の出演など、今まで公演ができなかった分、目白押しに出演依頼があり、会員一同、稽古に励んでいます。

(会長 島村利明)



白浪五人男

座間市短歌連盟

コロナ禍の猛威は人々を脅かして今なお収束ならず様々なイベントを狂わせたまま三年目を迎えた。こうした現状を踏まえ歌人会は、短歌講座や吟行会等の行事を見送りコロナ対策に十分配慮して、投稿作品の導入と共に自由詠、題詠をテーマに月例短歌会を実施しています。

公害・デフレ・ウクライナ激戦等の有様を短歌に託し次の世代に伝達を思いつつ、歌会を通して诗情ゆたかな作詠ができることを願っています。

(伊田登美子)

座間市謡曲連盟

「鎌倉殿の13人」がテレビで人気を博していますが、源平の戦い等を扱った修羅物は怨霊が現れ、無念の思いを語ります。他に「神」、「女」、「鬼」等、謡の曲目の多さ、学ぶことは山ほどあります。

古の和歌も各所にちりばめられ、古典を学ぶ楽しさも格別です。

清水寛二先生の稽古は、時に厳しくもありますが、初心のうちは一句ずつ口うつつして習います。呼吸法も大事です。

今夏、鍛錬会と銘打ち、拍子・曲趣の集中講義。秋の座間市民芸術祭に向けて、日頃の成果を発表すべく練習に励んでいます。また、今秋は「卒塔婆小町」の能舞台鑑賞もあります。

興味のある方はお稽古をのぞいてみませんか。

(宮本明薫)

座間市民謡曲連盟

開催のご連絡をいたします。

コロナ禍において、3年を経て、令和4年10月2日(日)座間市民芸術祭民謡舞踊発表会を開催できますこと、座間市文化協会の会員として、うれしく思い感謝いたします。

本年度からは新団体を含め10団体の新役員にて、発表させていただきました。新役員皆で、一生懸命務めさせていただきました。色々ご迷惑をおかけすると思いますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(大園華舟(栗竹好子))



相武棋楽会

104年振りの快記録『2桁勝利、2桁本塁打』達成、野球界で全米を、また日本中を沸かせた二刀流大リーガー大谷翔平選手同様、コロナ騒ぎに負けじと将棋界においてもスーパースター藤井聡太少年(現5冠王)が大活躍している将棋を指してみませんか。

当サークルの活動は、毎月第二日曜日、午前10時より座間市公民館2階の日本間で一日中楽しんでおりますので、ぜひ足をお運びください。お待ちしております。

年齢層も大分高齢化(50〜80歳)してきましたので、若手の皆さんのお誘い(子どもさん、ご婦人も大歓迎)重ねてお待ちしております。

(鈴木兼夫)

座間市囲碁連盟

囲碁連盟は、毎月第一日曜日(午前10時開催)に座間市公民館で囲碁大会を開催しております。コロナ対応で高齢者の自粛から集まりは25名程度でした。対局は、5名1組のリーグ戦方式で、毎回同じ相手と対戦しないよう組合せを変えております。また、年1回各地域同好会の集まりによる団体戦を主催しておりますが、コロナ対応・各同好会の開催・集まり状況などから今回も中止しました。

年会費1千円、入会金100円で、見学参加も歓迎しておりますので、気軽に参加してみてください。

問合せ先 馬場 046-252-6306

(会長 馬場 満喜榮)

座間市川柳連盟

日常生活の中でコロナと上手に付き合いながら過ごす日々が相変わらず続いております。開催自粛を余儀なくされていたイベントも「感染対策」を合い言葉に少しずつ再開されるようになりました。

もちろん定例会も支障なく催し、お互いの元気な顔を見て川柳を楽しみながら話に花を咲かせています。コロナ禍で発表の機会が少なくなりましたが、座間市公民館のご厚意で「一押し句」のコーナーを設けていただき自薦の句を発表しています。お近くにお越しの際はぜひ立ち寄りください。

川柳は日々心を感じたことを言葉にし楽しむ座の文芸です。興味のある方は鉛筆と辞書を持って遊びに来てくださいます。定例会は、毎月第一土曜日午前10時から座間市公民館講座室で開いています。

(稲垣文野)

座間市三曲協会

当協会は、平成18年度より長年にわたり、文化庁委託事業邦楽子ども体験教室に取り組んでおります。

今年もできる限りの感染対策を行い、25名の参加者による「おこ子ども体験教室」が実施されております。

一人でも多くの子どもたちが、日本の伝統音楽の素晴らしさを感じるきっかけになるように今後もこの事業を継続してまいります。

10月23日開催の演奏会では、子どもたちも出演し成果発表をいたしますので、乞うご期待。

(長谷川文子)

谷戸山野草会

「亡き先生との思い出の地」

車山湿原ハイキングツアー、平成29年6月野外講座として、バスツアーを計画した。

車山湿原駐車場から歩いて行くとレンゲツツジ、コバイケイソウ、サクラスミレなど、見頃の花たちがたくさん咲いていた。1時間程ゆっくり登り、見落としてしまうくらい小さな花を見つけるとは、その都度、先生に花の名前を聞き写真を撮った。あまりにも立ち止まること多くて、1キロも歩かないで折り返すことになってしまった。

自宅の庭の山野草と自生している姿や環境の違いを知り、育て方や愛情のかけ方が変わりました。先生がいつも言われていたことは「植物に愛情をかけること！」でした。それはその植物を知ることです。

散策してみてもわかりました。

先生に谷戸山野草会を立ち上げていただき、仲間との出会いの機会をいただいたことに感謝です。谷戸山野草会は生涯学習そのものだと思います。愛情をかけた山野草を展示して、また皆様に見ていただきたいと思います。

(小島千栄子)



座間市書道連盟

コロナ禍となり、2年半が過ぎました。色々なことが解明され、行事についても元に戻りつつありますが、またまた感染者が増加しています。

生涯学習課の協力で、昨年の事業を二度延期して、今年の5月に講習会を開催することができました。年配の方から、子育て世代の方まで、多数の参加で大変好評をいただきました。「また開催してほしい。」との声もあり、ほっといたしました。

コロナの第七波が拡大し、役員会もままならずでしたが、8月に久々の役員会を開き、芸術祭の書道展について話し合いました。今後の事業については、各々の宿題というところで終了しました。

(峰尾昌子)

座間市俳句連盟

コロナ禍での暮らしや俳句の創作活動が常態化する中、俳句連盟では、3年ぶりの総会を4月に開きました。その折りの総会句会、9月の市民俳句大会と連盟主催の句会を二度持つことができたことが今年度のいちばんの収穫だと思います。

現在は、遅まきながらウェブサイトの構築に取り組んでおり、年度内の開設を目指しています。連盟傘下の各句会の紹介はもとより、新規会員の募集や各種問い合わせに対してもネットを介してできるようにしたいと考えています。また、ネット句会なども実現できればという思いで作業を進めています。

(桑野剛)

座間市詩吟連盟

座間市詩吟連盟創設以来、毎年開催してきた春、秋の大会でしたが、3年ぶりに春季吟道大会を本年6月26日(日)東地区文化センターにて開催することができました。当日は、約80名の会員がマスク着用での吟詠を披露するなど、様々な感染対策を講じての開催となりましたが、3年ぶりの発表の場を大いに楽しむことができました。

本年11月27日(日)には、秋季大会として、座間市民芸術祭吟道大会をハーモニーホール座間小ホールで開催する予定です。

ぜひ、ご鑑賞くださるようご案内いたします。

(山本隆和)



春季吟道大会

(4頁に続きます。)